

議会だより

No.80

平成24年(2012)
2月15日発行
上郡町議会

議会だより

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

12月定例会号

委員には幅広い人材を
補正予算

P.2

付託審査報告
提出議案に対する表決

P.3

全員協議会報告

P.4

視察研修、研究会
委員会構成の変更
議会活動報告

P.5

安室ダム建設の経過
議会だよりを読んで

P.6

一般質問

P.7~11



上郡町消防出初式 2012年1月8日

委員には

幅広い人材を

意見書を町長に提出

「再任の回数が多すぎる」、

「同一人物が兼任する委員会
が多過ぎる」などと以前から、

住民に指摘されていた。住民
の参画と協働が重視されない
ま、各種委員会の役割は重要
である。

昨年7月8日より総務文教

常任委員会は4回にわたって
委員の選び方について審議を行
い、1月23日に意見書をまと
めた。25日全員協議会で承
認、直ちに議長が町長に意見
書を提出した。意見書の概略
は次の通り。

地方主権改革が進み、「参
画と協働」が重視される中、

町政発展に向けて各種委員会・
審議会が有効にまた適切に機
能するよう、委員の選任につ
いては、左記事項の配慮を要

望する。

①町政との利害の有無には十
分検討して選任すること。

②団体の代表者を多くの委員
会の委員に重複して選任す
ることは避けること。

③幅広く意見を聴取する為に
も女性の選任や年齢構成に
配慮すること。

④委員再任の回数を制限し委
員会等の形骸化を避けるこ
と。

⑤委員会によっては公募が望
ましい。検討すること。

⑥委員の選任・再任・任期満
了について的確な対応をす
ること。

⑦二元代表制の見地から、議
員を委員に委嘱することは
極力避けること。

（人権擁護委員再任）

同意案件

工事請負契約締結の件

- 契約の目的 石戸特設水道統合施設整備事業
石戸施設整備工事
- 契約金額 193,200,000円
- 契約の相手方 姫路市網干区新在家1261-12
株式会社ハマダ
代表取締役 丸尾昭宏

1. 地方自治法の一部改正
に伴う条文の一部訂正。
2. 災害で緊急を要する場
合に、円滑な支援・復旧復
興活動を可能にするための
請負契約の遵守事項の一部
変更。

慎重審議の結果、全会一
致で可決すべきと決した。

平成23年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	6,879,616	41,116	6,920,732	人事院勧告による人件費補正、福祉医療助成費、後期高齢者医療費、予防接種委託料増額見込みによる補正
特別会計	国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,769,753	34,675	療養給付費の不足による補正
	国民健康保険事業会計（直診勘定）	78,366	4,000	患者数の増に伴う医薬品購入費の不足による補正
	後期高齢者医療事業会計	212,420	142	保険基盤安定負担金増額による補正
	介護保険事業会計	1,330,765	△ 55	制度改正に伴う人件費の補正及び給付実績による保険給付費の補正
	農業集落排水事業会計	319,145	△ 8	職員給与費の補正
	公共下水道事業会計	831,567	△ 15,390	職員給与費の補正及び管渠布設工事等の減による整備事業費の補正

付託審査報

総務文教常任委員会

(12月9日開催)

非常勤職員の公務災害補償の条例を一部改正

障害者自立支援法の公務災害の範囲が拡大されたことによる条文整理の改正。

当委員会は慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

民生建設常任委員会

(12月9日開催)

害補償条例の一部を改正

障害者自立支援法の公務災害の範囲が拡大されたことによる条文整理の改正。

当町の消防団員が対象である。消防署職員は別に規定されている。

5条に規定されている同範囲は。

〔質疑応答〕

問 障害者自立支援法第

答 一般会計で対応する予定。

〔質疑応答〕

問 基金残高が無くなつた場合はどうなるのか。

答 一般会計で対応する予定。

〔質疑応答〕

問 当町の消防団員が対象である。消防署職員は別に規定されている。

答 5条に規定されている同範囲は。

行援護と行動援護の違いは。

答 同行援護は、視覚障害に

より移動に著しい困難を有する障害者の外出時に同行し、

移動に必要な情報を提供。

行動援護は、知的障害、精

神障害によって行動が著しい

困難な障害者に、行動する際

に危険を回避するために必要な援護や外出時の介護を供与。

〔質疑応答〕

問 労務災害補償は、消防活動補助者も適用されるのか。

答 消防団員の他、消防活動に従事した一般人や救急業務

協力者にも適用。

当委員会は慎重審議の結果、

全会一致で可決すべきと決した。

〔質疑応答〕

問 全会一致で可決すべきと決した。

当委員会は慎重審議の結果、

全会一致で可決すべきと決した。

- 〔質疑応答〕
- 問 大持井堰で影響を受ける農地面積、農地所有者はどのくらいか。

答 本年3月末で農地面積は16・1ヘクタール、農地所有者は207人。
- 問 交付を受ける補償費は、年額なのか。

答 10年間分の補償費を一括して受け入れる。
- 問 大持井堰の維持管理を適正に行うため、新たに条例を制定する。なお、基金として積み立てられる額は、1762万1千円（県から交付を受ける管理補償費）。

当委員会は、慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

問 維持管理の範囲は。

答 井堰本体等（ゲート、設備、管理棟）と堤外水路（900m）の維持管理（光熱費、修繕費等）。

問 ペイオフに対する対応は。

問 ペイオフに対する対応は。

問 ペイオフに対する対応は。

問 一般会計や特別会計等の資金と同様に一括管理する。

問 大持井堰で影響を受ける農地面積、農地所有者はどのくらいか。

問 本年3月末で農地面積は16・1ヘクタール、農地所有者は207人。

問 交付を受ける補償費は、年額なのか。

問 大持井堰の維持管理を適正に行うため、新たに条例を制定する。なお、基金として積み立てられる額は、1762万1千円（県から交付を受ける管理補償費）。

当委員会は、慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

提出議案に対する表決

案 件	井口まさのり	梅田 修作	中山 竹信	小原 潤一	橋本 正行	大政 正明	阿部 昭	赤松 初夫	小寺 政広	沖 正治	村上 昇
11月臨時会											
起立による表決											
1 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12月定例会											
起立による表決											
1 人権擁護委員の推薦につき同意を求める件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 非常勤職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例制定の件*	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 上郡町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件*	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 大持井堰管理基金条例制定の件*	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 平成23年度上郡町一般会計補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 平成23年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 平成23年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 平成23年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 平成23年度上郡町特別会計農業集落排水事業補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 平成23年度上郡町特別会計公共下水道事業補正予算の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 工事請負契約締結の件	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>							
12 上郡町議會議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定の件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

○印は賛成、×印は反対、欠は採決に参加しなかったことを示す

全員協議会報告

平成23年11月23日全員協議会を開催、各課から報告事項や本会議への提出案件の説明を受けた。

○鞍居診療所の休診

農業者が助成金を農水省に主返納することを確約した。

○川まつり

河原医師から町長に竹万で開業するため平成24年3月末退職したいとの申し出があった。診療所の今後のあり方を検討した結果、総合的に判断して左記理由により4月以降しばらく休診とする。

- ①老朽化した医療機器、往診車の更新が必要。
- ②医師が町内で開業するため、医療機関数の変化はない。
- ③医師は開院後訪問診療、夜間診療に努める方針。
- ④医師を募集し、診療所を開いても赤字を避けることはできない。国保会計も揺るがす原因となる。

○減反助成金を自主返納

上郡町地域水田農業推進協議会は、平成18・19年度の助成要件を満たさず交付を受けた

告があった。平成24年2月6日から運行開始。(その後2月27日に変更)

その他、地域公共交通事業補助金の概要報告があった。

○給食センターはどこに

「総務文教常任委員会では建設用地の選定について、一定の方向性が示されたが、再度全議員の意見を集約して、議会としての方向性を教育部局へ示すべきだ」と、最初に議長より発言。

統一して総務文教常任委員長から、委員会での審査経過の概要が報告され、意見集約を行った。

【意見】

・平成25年2学期実施は変更すべきでない。早急に取り組むべし。竹万大間に建設すべきだ。

・公の施設を中心部に建設するのにはいかがなものが。

・平成25年建設に固執せず、もつと議論を深めるべきではないか。将来に禍根を残す。

・意見交換の結果全議員が同

じ情報を基に判断すべきだ。

改めて担当課から建設用候補地の竹万大間に旧船坂小学校の比較、船坂小学校跡地利用に関する法的手続きの説明を受けた。

町長はどちらに建設したいのか。

用地選定の検討委員会は、新たな土地は購入せず、余分な経費をかけないという考え方で、検討してきた。是非竹万に建設したい。

町長はどちらに建設したいのか。

【質疑応答】

問 船坂小学校を使うと、建設費以外に7100万円必要

と言うが、この額は必ず必要か。

答 概算だが、その金額は必要。

やクリーンセンターがある。環境アセスメント調査はしたか。

答 環境アセスメント調査の目的は、建設する施設が周辺に与える影響を調査するもの。

逆に周辺から影響を受けるようであれば、給食センターで措置しなければならない。

・大開には浄化センター、クリーンセンターがあり、住民の理解を得にくい。

・用地選定の町長の強い意志を感じない。

・船坂小学校跡地利用の建設は時間を要するため町民との約束が守られない。

・執行権は町長にあるが、議会が方向性を示さないことで、いたずらに供用開始を引き伸ばすことになつてはいけない。

答 校舎利用の場合補助金はない。運動場利用の場合約6400万円の補助がある。

問 法的手手続き等を含んだ両者の工期は。

答 竹万の場合年内に用地が決まれば、25年9月に間に合う。旧船坂小グランド利用の場合、代替地確保等に時間がかかり、間に合わない。

問 町長はどちらに建設したいのか。

用地選定の検討委員会は、新たに土地は購入せず、余分な経費をかけないという考え方で、検討してきた。是非竹万に建設したい。

町長はどちらに建設したいのか。

【質疑応答】

問 船坂小学校を使うと、建設用候補地の竹万大間に旧船坂小学校の比較、船坂小学校跡地利用に関する法的手手続きの説明を受けた。

町長はどちらに建設したいのか。

答 用地選定の検討委員会は、新たに土地は購入せず、余分な経費をかけないという考え方で、検討してきた。是非竹万に建設したい。

町長はどちらに建設したいのか。

答 校舎利用の場合補助金はない。運動場利用の場合約6400万円の補助がある。

問 法的手手続き等を含んだ両者の工期は。

答 竹万の場合年内に用地が決まれば、25年9月に間に合う。旧船坂小グランド利用の場合、代替地確保等に時間がかかり、間に合わない。

問 町長はどちらに建設したいのか。

用地選定の検討委員会は、新たに土地は購入せず、余分な経費をかけないという考え方で、検討してきた。是非竹万に建設したい。

町長はどちらに建設したいのか。

答 校舎利用の場合補助金はない。運動場利用の場合約6400万円の補助がある。

問 法的手手続き等を含んだ両者の工期は。

先進地の 子育て支援を学ぶ (全議員視察研修)

11月17日に鳥取県湯梨浜町役場を訪問した。湯梨浜町は羽合町、泊村、東郷町が合併し誕生した町で、東郷湖畔の羽合温泉が有名である。湯（温泉）、梨、砂浜から町名が付けられたように、ユニークでアイデア豊かな事業が行われている。

人口減少の時代に注目すべき点は、この数年人口が横ばいで推移していることである。これは「子育て支援課」を設置し、幼保一体の施設の運営等、さまざまな子育て支援や定住促進の成果によると感じた。ほぼ同じ人口規模のこの町が行っている手法を学ぶため、活発な意見交換を行った。

防災対策を学ぶ
(議員研修会)



全議員研修 香美町

釜石市では東日本大震災の大津波に対し、スエバ一堤防等のハード対策は役に立たなかつた。しかし長年の避難方法の指導の徹底により、学童が全員無事避難できたとのことである。

講演から私たちは3つの重要なポイントを学んだ。想定に捉われない危機意識を持つこと、どんな状況でも諦めず最善の方法を考え行動すること、周囲を巻き込み率先して避難する冷静さを持つことである。家族や身近な人と不測の事態に対する対応法を普段から話し合い、防災意識を高めることが求められているのではないか。

委員	所属	委員会構成の変更 (平成23年11月7日現在)	委員会運営委員会	新議員紹介	
				委員	副委員長
委員 大政正明	所属 民生建設常任委員会	小原潤一	所属 ・総務文教常任委員会 ・広報調査特別委員会	中山竹信	梅田修作
委員 井口まさのり	委員 阿部 昭	千種川河川改修特別委員会 副委員長	・兵庫県市町議会正副議長会研修会 ・赤相農業共済事務組合議会定例会 ・月例出納検査 ・近隣市町親善剣道大会 ・兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会臨時会 ・兵庫県町議会議長会臨時総会・評議員会議 ・議会運営委員会 ・県監査委員協議会研修会 ・西播磨防災訓練 ・商工会まつり ・全員協議会 ・上郡町議会第6回臨時会 ・上郡町戦没者追悼式 ・西播磨高原広域事務組合監査 ・(社)相生・上郡地域シルバー人材センター30周年記念式典 ・西播磨市町議長会第2回総会及び現地視察 ・第8回上郡町公共交通会議 ・第5回上郡町公共交通対策協議会 ・県議長会本県選出国会議員に対する要望会 ・第55回町村議会議長会全国大会 ・全議員先進地視察研修会 ・県議長会議員研究会 ・浪漫街道夢フェスタ ・千種川河川改修特別委員会 ・農業委員会 ・老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 ・全員協議会 ・議会運営委員会 ・白旗城まつり ・西播磨高原広域事務組合議員行政視察 ・上郡町議会第7回臨時会 ・議会運営委員会		

議会活動報告（9月～11月）

(9月)	<ul style="list-style-type: none"> 赤穂市制施行60周年記念式典 上郡町議会第4回定例会 総務文教常任委員会 民生建設常任委員会 播磨高原東中学校体育祭 西播磨地域づくり懇話会 上郡中学校体育大会 上郡町敬老会 社会福祉協議会理事会 農業委員会 上郡町・船坂地区合同防災訓練 播磨高原東小学校運動会 各小学校区民体育大会 月例出納検査 広報調査特別委員会 西播磨市町長・市町議長会要望会 総務文教常任委員会 老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 上郡幼稚園・山野里幼稚園運動会 赤松幼稚園運動会 平家まつり 議会運営委員会 上郡高等学校体育大会 高田幼稚園運動会 町民体育大会 石川県中能登町議会（議会運営委員会）視察研修 上郡町議会第5回臨時会 全員協議会 広報調査特別委員会 全員協議会 東備西播定住自立圏形成推進協議会 広報調査特別委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県市町議会正副議長会研修会 赤相農業共済事務組合議会定例会 月例出納検査 近隣市町親善剣道大会 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会臨時会 兵庫県町議会議長会臨時総会・評議員会議 議会運営委員会 県監査委員協議会研修会 西播磨防災訓練 商工会まつり 全員協議会 上郡町議会第6回臨時会 上郡町戦没者追悼式 西播磨高原広域事務組合監査 (社)相生・上郡地域シルバー人材センター30周年記念式典 西播磨市町議長会第2回総会及び現地視察 第8回上郡町公共交通会議 第5回上郡町公共交通対策協議会 県議長会本県選出国会議員に対する要望会 第55回町村議会議長会全国大会 全議員先進地視察研修会 県議長会議員研究会 浪漫街道夢フェスタ 千種川河川改修特別委員会 農業委員会 老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 全員協議会 議会運営委員会 白旗城まつり 西播磨高原広域事務組合議員行政視察 上郡町議会第7回臨時会 議会運営委員会
(10月)	<ul style="list-style-type: none"> 上郡町議会第5回臨時会 全員協議会 広報調査特別委員会 全員協議会 東備西播定住自立圏形成推進協議会 広報調査特別委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県市町議会正副議長会研修会 赤相農業共済事務組合議会定例会 月例出納検査 近隣市町親善剣道大会 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会臨時会 兵庫県町議会議長会臨時総会・評議員会議 議会運営委員会 県監査委員協議会研修会 西播磨防災訓練 商工会まつり 全員協議会 上郡町議会第6回臨時会 上郡町戦没者追悼式 西播磨高原広域事務組合監査 (社)相生・上郡地域シルバー人材センター30周年記念式典 西播磨市町議長会第2回総会及び現地視察 第8回上郡町公共交通会議 第5回上郡町公共交通対策協議会 県議長会本県選出国会議員に対する要望会 第55回町村議会議長会全国大会 全議員先進地視察研修会 県議長会議員研究会 浪漫街道夢フェスタ 千種川河川改修特別委員会 農業委員会 老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 全員協議会 議会運営委員会 白旗城まつり 西播磨高原広域事務組合議員行政視察 上郡町議会第7回臨時会 議会運営委員会
(11月)		

安室ダム建設の経過

新聞報道があつたダム建設に関する企業債の償還金やダム管理に関する負担金を2市1町が負担している件につき、担当課から経過等の説明を受けた。

ダムは昭和49、51年の台風による集中豪雨被害により抜本的な治水対策を講じる必要が生じたため、昭和57年に工事着手、平成4年に完成した。

当時（昭和53年）の人口予測や企業進出等の状況から、近隣市を含めて将来的な水需要を検討した結果、利水を含めた多目的ダムの建設が必要と結論付けられた。

昭和63年に利水使用許可を得たもの

の企業進出の停滞や人口減少等により取水施設は建設されなかつた。

安室ダム

議会だよりを読んで

横山 正



ためにどんな意見が交わされているのか、といった部分が見えにくく、私にとっては興味を引きにくい記述だと感じました。テレビで活躍中の「池上彰」さんが解説したらもっとわかりやすいし、多くの方が目を通すのだろうに：と思います。どうでしょうか？

ご意見有難う ござります

議会だよりモニターをはじめて何度目かになりました。

今回は山本町長の急な辞任と後任の町長選挙、それに伴う町議会議員選挙という大きな出来事がありました。新聞やテレビで述べられた表向きの理由よりも、私たち町民が納得がいく事實を知りたいので

3回目になり、率直なご意見にいつも感謝しております。

また今号では貴重な提案を頂き有難うございます。

「かみごおり議会だより」

記述されているだけで、正直がつかりしました。また平成22年度決算、委員会や全員協議会の報告、一般質問がありましたが、議会の活動には地味な部分がたくさんあるのだな：と感じる一方で、毎回やりとりの要約が書かれているだけの同じ構成であり、上郡町では今何が問題であり、解決の

華々しくは進みませんが、

ためにどんな意見が交わされているのか、といった部分が見えにくく、私にとっては興味を引きにくい記述だと感じました。テレビで活躍中の「池上彰」さんが解説したらもっとわかりやすいし、多くの方が目を通すのだろうに：と思います。どうでしょうか？

今後も議会の改革を鋭意推進し、読者が興味を持てる読み易い記事として掲載することを目指します。

議員の発言を戒める

テレビ中継をご覧になつた視聴者から、議員の質問の一視方、内容、言葉遣いについて、改善を求められました。町民の代表として恥ずかしくない言動を行うよう、今後も努力いたします。

「全般的に優れた記事が多いのに、情報量に比してスペースが決定的に狭い。また見出しが弱く、記事がべた詰めで写真も少なく、読まれにくい。もっとゆとりのある、ビジュアルな紙面にしたい。そのためには増ページを恐れるべきではない。」

当委員会は、この研修を最大限活かして、読みやすくて多くの町民に親しまれる広報紙を目指す。

町民に親しまれる 広報紙づくりを学ぶ

広報調査特別委員会

1月26日神戸で「議会広報研究会」

は本会議や委員会の報告ばかりでなく、テレビ中継実施に向けた取組みやトピックス記事（議会あれこれ）も掲載してきました。一方広報研究会では、講師から「住民が興味

い議会広報づくりを勉強した。

深澤徹氏（広報コンサルタント）が講演のあと、県下12

町議会広報紙の評価を行った。

私たちの「かみごおり議会だより」も細部にわたって診断されたが、次の指摘があった。



一般質問



小寺政広 議員

町長 町民と行政の距離を遠ざけるような対応は控えたい。

公正公平な町政を目指すためには、応接録の作成、そのための職員の配置、録音機、テレビカメラによる記録、その結果を混乱させないために、町民の切実な声を町政に生かしていくためにも、町長室を可視化すべきだが。

町長 一部の人との癒着や便宜供与、不正取引、密談を防止するために、無茶な要求には屈しない。町民全体の利益につながるかを考え、ルールを守る。これらを心がけ間違いないの町政運営に努力した

町長 できるだけ複数の職員を呼んで話をする。特に、業者や利害関係者とはそういう姿勢で臨みたい。



▶ 町長室

問 公正公平な町政を目指すためには、応接録の作成、そのための職員の配置、録音機、テレビカメラによる記録、その結果を混乱させないために、町民の切実な声を町政に生かしていくためにも、町長室を可視化すべきだが。

A 応接記録の作成・閲覧を複数の職員を同室させる

問 現実に、町長室でどのような要望がなされ取引されているか、今まで記録も何もされていない。「言つた言わない」ということを防ぐために応接者の会話や要望は記録にとるべきだが。

要望や意見に対しても、担当課長と相談し職員と一緒に考えていく姿勢を持ちたい。そのためには、筆記する職員を入れての記録が必要だが。

12月6日から8日までの3日間、9人の議員が一般質問に登壇した。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおり。

一般質問

ここが
知りたい！

- 1番 小寺政広 議員
町長室を可視化すべき p. 7
- 2番 梅田修作 議員
住民との意思疎通が不十分だ p. 8
- 3番 阿部 昭 議員
町議時代の反対発言への対応は p. 8
- 4番 大政正明 議員
予算反対と町政継承は矛盾 p. 9
- 5番 赤松初夫 議員
借金の軽減策は p. 9
- 6番 中山竹信 議員
給食はいつから開始可能か p. 10
- 7番 小原潤一 議員
TPP協議反対の要請を p. 10
- 8番 橋本正行 議員
小学校の跡地はどうするのか p. 11
- 9番 井口まさのり 議員
子育て支援策をどう考えるか p. 11

「議会だより」のモニターを募集

「かみごおり議会だより」は定例会・臨時会・常任委員会の主な審議内容、議員の研修等の報告を通じ、議会の活動を町民の皆様に知って頂くために刊行されています。発行は年4回で、各戸に配付されています。

近年住民との協働に向けた方向性が議会広報にも求められ、議会広報紙の研究会でも住民の意見の掲載を奨励されるようになりました。議会から住民への情報発信ばかりではなく、住民が議会へ向けて意見を発信することが必要とされています。

そこで町民の方若干名に「かみごおり議会だより」のモニターになって頂き、町民の目で内容をご検討頂き、ご意見を「議会だより」に掲載することにしました。ご検討頂くのは81号から1年分(4部)です。ご協力いただける方は議会事務局(電話: 52-3512)へご連絡ください。

Q 住民との意思疎通が不十分だ

A 積極的に耳を傾け反映させる



梅田修作 議員

問 若い世代が町外へ住まいを求める傾向が目につく。これは町の根幹が揺らぐ重大な問題である。私は魅力ある町づくりのために、今こそ行動力と問題発見力、新しい価値

を生む創造力がこの町に求められていると考えるが、町長の考えは。

町長 素晴らしい提言である。町の発展、福祉の増進の為にも住民、議会、行政の三位一体の協力を求めたい。

企業の経営手法を行政に生かせ

問 民間企業の経営手法がこ

の町に必要である。特に住民のニーズと行政の間に大きなギャップを感じる。住民との意思疎通が不十分なのではないか。

町長 ニーズが多様化している。的確にニーズを把握し施策に反映したい。

問 そのためにどう取り組むのか。企業ではお客様相談室等の窓口がある。住民誰もが意見を言える環境作りと、その分析と反映のために意見や苦情を扱う専門部署の設置を

求める。

町長 今はその考えはない。

最善の方法で学校給食の実施を

問 給食が与える地元経済の影響を考えているか。家庭で弁当を作らない分商業関係の売上は減る。その額は相当大きい。仮に、商業施設や雇用が減れば町にますます魅力が無くなる。どう対策を講じるのか。

学校教育課長 商業関係に影

響があるのは確かだ。地元米の使用など地産地消に取り組む。



▲ 住民満足度を意識した窓口業務（大野城市HPより）

Q 町議時代の反対発言への対応は

A 自分の主義主張は一步退く

問 町議時代に毎年的一般会計予算で、①安室ダム水道企

町長 4件に反対を続けてきた。

町長になつての対応は。

町長 安室ダムの件は県事業

なので執行者として対応する。

定住自立構想の件も赤穂

市、備前市と協力して進める。

同和問題の件は他の人権啓発

事業と同列に考え進める。

市計画税の見直しの件は必要

税なので廃止は考えていない。

以上批判は覚悟の上である。



阿部 昭 議員

介護保険料は多段階に変更を

問 平成24年介護保険料金の見直しで65歳以上の人の介護保険料は前年度所得の状況よ

り設定している。今迄は年収200万円以上を一括りにしていた。段階を400万円、

600万円と多段階にし平等性を重視しては。

町長 多段階を含めて策定委員会に提言する。



▲ 山野里小学校の太陽光発電設備

太陽光発電設置に補助金を

問 山野里小学校、上郡小学校で太陽光発電設置で2校合

わせて60万円の節約効果があつたとの報告を聞いた。他の公

共建物にも設置しては。また家庭への設置に補助金を。

住民課長 再生可能エネルギー法の導入へ、国や県の財政支援の動向を見据えながら前向きに検討しなければと思つて

いる。

一般質問

Q 予算反対と町政継承は矛盾

A その時々の判断だ

問 議員のときに予算を総て反対した、これは町の施策を全て否定したことになる。山本町政を継承するというは矛盾であるが。

町長 その時々の判断だ。

大政正明 議員

議員には予算の修正案を提出することが認められる。自分の思想信条を示すために手間をかけるべきだ、それを怠ったのでは。

町長 惰ったつもりはない。議員は自分の思想信条を高く掲げ行動する。議員活動をその程度にしか見てこなかつたのでは。

町長 その時々の判断だ。

Q 借金の軽減策は

A 繰上げ償還、民間委託等で

240億円の借金

問 上郡町は240億という多額の借金を抱えている。兵庫県でそれほどの借金を抱えている自治体は少ない。

財政企画財政課長 19年度～21年度の補償金免除による繰上げ償還などをしている。またプライマリーバランスの黒字化にも心がける。

赤松初夫 議員

問 補償金免除の繰上げ償還で得た減債額は。

企画財政課長 今上郡町の財政状況という冊子を作っている。その後に財政シミュレーションを入れる予定だ。

産業振興課長 農業担い手育成、耕作放棄田の解消、担い手農家・営農組合への農地の集積など実施している。国策として新規就農者に7年間年

問 人口減少は重大な問題だ、対策はどうする。

町長 学校給食・子供医療費無料化拡大等、財政と相談し考えていきたい。

問 人口確保の見込みは。効果が得られない場合の対策は。

長い議員経験から策はないか。

町長 数字はわからない。効果があると思い進める。数日前に新都市で移動図書館を見て良いなと思った。

問 公開討論会で借金はあるが町財政は心配ないといった。



150万円給付する事業も生まれる予定。

問 過疎化から町を守る方策は。

町長 山川、田園風景、歴史資源を活用して町外からの集客力向上を図る。

問 農業は衰退する一方だ。

問 減債の中長期シミュレーションを示せ。

産業振興課長 農業担い手育成、耕作放棄田の解消、担い手農家・営農組合への農地の集積など実施している。国策として新規就農者に7年間年

じういう判断か。

町長 財政健全化の4指標でイエローカードが出ていないから、身の丈にあつた事業実施をすれば行政運営は可能。

問 経済状況の悪化、税収に関連する15歳から64歳までの世代の減少が特に大きく4指標に頼るのは危険。

町長 4指標に注目し国の指導を受けないよう進めたい。



▲ 岩木営農組合



井口まさのり 議員

問 小学校の跡地はどうするのか

町長 新年度からという明言はできないが、子育て支援課創設の検討はしないか。

問 幼保一体化について、今後進めていくのか。

町長 幼保一体化をする方向

問 議員時代より訴えている幼保一体化について、今後進めていくのか。

町長 幼保一体化をする方向

Q 子育て支援策をどう考えるか

A 十分重く捉えている

町長の政治姿勢について

で考えているが、国県の指向性が決まらない限り町単独で動くことはできない。

問 子育て支援策は、町長が議員の時から訴え続けたことの一つだが、「子育て支援課」創設の検討はしないか。

トの議案が上程された際、「町長の報酬を129万円カットしたから」といつて、福祉の向上に繋がるのか」と言ったが今もその考え方なのか。

町長 人材を確保するには、お金が必要。町長になると付き合いも多いので、人間の価値を認めるためにも下げないで欲しい。

問 財政状況を考えた上で、これ以上悪くなることがあればトップの町長から減給を考えていく覚悟はあるか。



▶ 鳥取県
湯梨浜町議会議場にて



橋本正行 議員

問 小学校の跡地と建物は町民の財産であり、地域コミュニティ

問 民間活用の推進、企業・学校の誘致、福祉施設への転

▶ 再利用が待たれる
船坂小・梨ヶ原小



問 地域のまちづくりについて、基本的にどのような考え方で進めるのか。

町長 上郡町は手のひらを広げた様な形に地域が広がり、役場や駅などの都市機能を担

う地域、歴史・文化が豊富で緑あふれる地域など、ユニークな特徴を育みながらもさまざまな魅力を持つ町を作り上げてきた。各地域の特徴を維持し、魅力を更に高めることが重要と考えている。

早急に活用検討を

A 検討委員会を置いて進める

二ティーの拠点として早急に活用検討を考える場をつくるべきでは。

用、給食センターへの利用などについては、どう考えるのか。

企画財政課長 昨年4月から本格的に検討を進めており、旧上郡中学校の跡地も含め、幼稚園、小学校を合わせて10校あり、校舎、運動場、体育館も含めると全部で23施設ある。地域の要望を踏まえつつ、年度末を目標に検討を進めている。

企画財政課長 早期の活用を余り焦ると必要性のない施設に手を出すことになり維持管理費ばかりがかさむことも心配の一つと考える。それから建物の耐震性、土地利用での区域の規制などを慎重に進め、当面利用がない施設等は売却も検討したい。

祝 187名新成人おめでとう！

平成24年1月9日



講会ホームページから 会議録がご覧になれます

町のホームページからアクセスできます。
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

傍聴へどうぞ!!
車イスもあります
次回は**3月6日**開会予定
テレビ中継は午前10時より

編集後記

今年の降雪量は平成18
年豪雪を上回る？

雪の重さで橋が落ちたり雪下ろし中に屋根から落下して大勢の方が亡くなるなど、悲惨な状況が連日報道されています。

一日も早い春の到来が待ち望れます。

今号は新たに構成された議会広報委員が編集した最初の号です。先の広報研究会で講師から指摘のあった事項を参考にしたり、これまでにないほど編集時間を費やして作成しました。

まだまだ修正すべき点や興味を持つてもらう編集となっていないかもしれません、「誰にも分かり、読む気になる広報書くべきことをきちんと書く広報。」などを意識し、町民の皆さんに親しまれる広報となるよう努めていきたいと思います。